

愛知クオリティ企業 自主広報企画

あたたかい商店街を

テーマ: 日本街路灯製造株式会社

メディアデザイン専攻 上岡研究室

D10076 福井こづ枝

制作目的

愛知ブランド企業のPRを
個人の目線で考え、企画を制作

テーマ

日本街路灯製造株式会社



日本街路灯製造株式会社
JAPAN OUTDOOR LIGHTING MFG. CO., LTD.

地域開発や環境整備に彩りを添える街路灯・アーチ・サインなどの企画・デザイン・設計から、自社工場主体の製造、そして施工からメンテナンスまで、一貫して社員が手掛ける。

「オリジナル街路灯日本一」を目指し、多品種少量、超短納期一極集中に対応出来、製造プロセスが、ISO9001にて確立され、自社工場での生産体制により、他社に真似できない、独自設備や直接お客様に製造現場を見て頂くなど、小回りの良さで顧客のニーズに瞬時に応える事により、お客様との末永い信頼関係を構築している。

目的

日本街路灯製造株式会社にとって商店街は主要顧客であり、一番の大事な顧客です。

そんな商店街の閑散化という今の現状を知り、灯りで何か出来ないか。と考えました。



取材した商店街の現状

■商店街名／取材日／取材者

- ・道徳商店街／11月26日／飲食店経営、男性
- ・雁道商店街 賑町商店街／12月4日／商店街会長、男性
- ・大曾根商店街／12月8日／商店街会長、男性
- ・円頓寺商店街／12月11日／商店街組合代表、女性

銀河鉄道

11月26日 道德商店街

雁道商店街

12月4日 雁道商店街



12月4日 雁道商店街



12月4日 雁道商店街



12月4日 賑町商店街



12月8日 大曾根商店街

商店街の声

◎取材にて

- ・若者は大型ショッピングモールに行ってしまう、来てくれるお客様は商店街の方や地元の年配の方。
- ・後継ぎがない。(道徳商店街、飲食店経営、男性)

- ・年々の店舗減少。
多くの店がないと、商店街ではなくなってしまう。。。(雁道商店街、商店街会長、男性)

- ・商店街に店を出している人の高齢化。
- ・後継ぎがない。
- ・昔の方が圧倒的にお客様が多い。(大曽根商店街、商店街会長、男性)

- ・後継ぎがない。
- ・定年退職をしてから店を出している人が多いので、高齢化による空き店舗の増加。
- ・大型ショッピングモールへほとんどの人が行ってしまう。
(円頓寺商店街、商店街組合代表、女性)

戦略

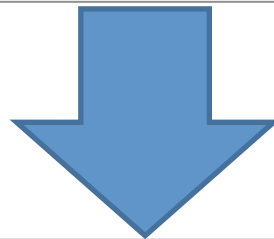
灯りをともすだけで商店街のイメージががらりと変わる。

周りの景色もがらりと変わる。

そして灯りが変われば人の流れも変わる。

ただ照らすだけでなく光の与え方、雰囲気の変化などを考え、その場所に合った灯り提案を、より多くの商店街に貢献してほしい。

商店街と知り合うためのきっかけづくり



自主的な、商店街の為の活動

灯り調査隊



日本街路灯製造株式会社は独自設備である「あかり実験室」を用いて光の与え方、雰囲気の変化などをととも考え、灯り作りをしている。その技術を生かし、日本街路灯製造株式会社の中で灯り調査隊を作り、無料で商店街の街路灯を点検、メンテナンスをする。

雰囲気によって店や、通りによって色味を変化させたり、年配の方が多いので、安全の為明るくさせたりなど、灯り調査隊が実際に行き、メンテナンスをする。

日本街路灯株式会社が大切にしている「優しさ」や「心配り」で商店街の組合の方との「信頼関係」が築け、商店街のその後の活性にも繋がる。

灯りレンジャー～灯り調査隊～ あなたの商店街へ灯りレンジャーが行く！

・合言葉「あたたかい商店街を！」

灯りのあたたかさ、商店街のにぎわいのあたたかさ、人のあたたかさ

・ミッション

商店街の店の看板、アーケード、街路灯、商店街の入口のアーチ、モニュメントの灯りを調査し、防犯、安全の為明るくさせた方がいい部分、雰囲気を変えた方がいいと感じた部分など、いろいろ気になった部分をまとめ、商店街組合の方にレポートを渡す。

灯りレンジャー～灯り調査隊～ ロゴマーク紹介

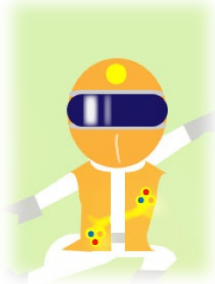


「灯りレンジャー～灯り調査隊～」のキーワードである「灯」という文字が分かりやすい様、主体に崩さず、「灯」の文字の周りの黄色のマークは灯りをイメージし、三人で編成しているので三つの円に。

そして円の中にレンジャーのシンボルカラーである赤色、青色、黄色を入れ、日本街路灯製造株式会社が大切にしている「優しさ」や「心配り」をイメージし、ぼかしを入れ、柔らかいイメージになる様制作。

灯りレンジャー～灯り調査隊～ メンバー(性格)

日本街路灯製造に勤務する3人の灯りのプロフェッショナル達



・黄色→店の看板の灯り担当
いろいろなお店巡りをする事が大好き。その中でも好きなのは食べ歩き。
最近お腹の脂肪が気になる。
灯りの魅せ方で少しでもお店の雰囲気が良くなって欲しいと願っている。



・青色→アーケードの灯り、街路灯の灯り担当
目がとても良い。また、遠くの景色を見る事が大好き。
最近老眼がはじまり、それが悩み。
防犯や安全に気をつける灯りを提案し、少しでも女性やお年寄りが安全に暮らせる街になるよう願っている。



・赤色→リーダー。商店街アーチ、モニュメントの灯り担当
喋る事が大好き。趣味は人間観察。人をまとめる事が好き。
笑うと声が大きすぎてしまう事が悩み。
商店街がこの活動で少しでも活性に繋がれば・・・と願っている。

灯りレンジャー～灯り調査隊～ メンバー（役割）

日本街路灯製造に勤務する3人の灯りのプロフェッショナル達



・黄色

商店街ピックアップ

ピックアップをした商店街に電話 アポ取り

商店街組合の方に渡すレポート作り



・青色

SNSへ調査をした商店街をアップ

商店街組合の方に渡すレポート作り



・赤色

黄色と青色が調査をして気になった部分の最終確認

商店街組合の方にレポートを持って調査報告の説明

灯りレンジャー～灯り調査隊～ メンバー（制服）

日本街路灯製造に勤務する3人の灯りのプロフェッショナル達

- ・調査がしやすい様、ベストタイプ。
 - ・灯り調査隊レンジャーの存在を、より多くの人に知ってもらう為、裏面はロゴマークを全面に。
 - ・生地はフルカラー法被を作る定番、そして軽い化学繊維素材である「テトロントロマット」を使用。
- 使用例：懸垂幕



- ・表面の模様、裏面のロゴマークどちらとも印刷で表す。

表



裏



灯りレンジャー～灯り調査隊～ (活動内容①)

日本街路灯製造に勤務する3人の灯りのプロフェッショナル達

・対象

商店街

・調査をする商店街の選定基準

毎日シャッターを下ろしている店が10以上ある。
その中でも、空き店舗の数が5以上ある。
最寄駅が10分以上離れた場所にある。



灯りレンジャー～灯り調査隊～ (活動内容②)

日本街路灯製造に勤務する3人の灯りのプロフェッショナル達

◎調査方法

・黄色

商店街をピックアップ

ピックアップをした商店街へ電話し、現状を聞く



アポ取り



・三人全員

写真、レポートをとりながら現地調査



・青色

終了したら調査をした商店街紹介をSNSへ投稿

※気になった部分のレポートではなく、この商店街へ行ってきましたなどの日記の様なもの。

気になった部分のレポートでは第三者に調査した商店街のマイナス部分が見られてしまう為。



灯りレンジャー～灯り調査隊～ (活動内容③)

日本街路灯製造に勤務する3人の灯りのプロフェッショナル達



・青色

SNSへ投稿終了



・黄色、青色

商店街組合の方に渡すレポートを作る。



・赤色

完成したレポート持ち、調査した商店街へ行き、説明。

組合の方にレポートを渡す。(赤色)



ミッション完了！！

灯りレンジャー～灯り調査隊～ (広報策① SNS発信)

日本街路灯製造に勤務する3人の灯りのプロフェッショナル達

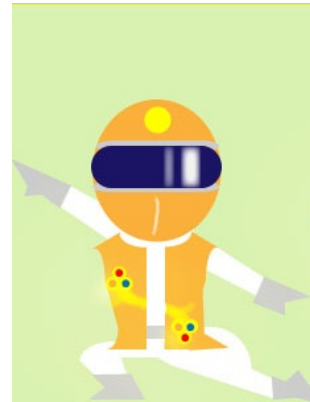
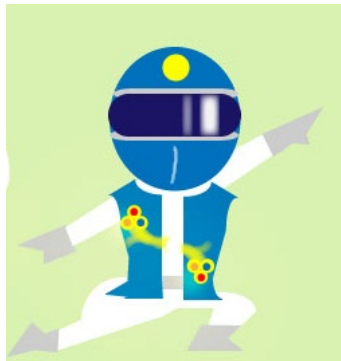
SNSへ投稿する事によって、多くの人達(ターゲット)が日本街路灯製造株式会社はこんな事をやってるんだ、と情報を知る事が出来る。



灯りレンジャーの依頼が増える。



閑散とした商店街が少しでも少なくなるのでは・・・

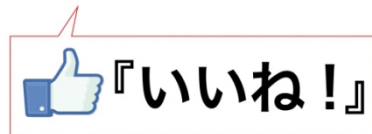


SNSの検討

・企業アカウントがよく作られている三つのSNSのメリット、デメリットを検討し、今回の施策に適切なSNSを決定。

facebook

<メリット>→多くの人とコミュニケーションがとれ、拡散性がとても強い。
アクション率(クリック率、いいねなど)が高く、写真がアップしやすい。
デメリットが少ない。



<デメリット>→ユーザーへの返答などのフィードバックが必要な場合がある。

SNSの検討



<メリット>→企業に対してユーザーの自然なツイートから反応がとてもよく分かる。
とてもユーザーとのコミュニケーションがしやすい。

<デメリット>→写真を複数枚投稿するのはむずかしい。
コミュニケーションがしやすい為、炎上しやすい。



<メリット>→企業が限定で特別感のある情報を発信する際、効果的。

<デメリット>→ユーザーの声が聞けないので企業のひとりよがりになってしまう。
写真と文を一緒に投稿する事が出来ない。

facebook

デメリットが少なく、拡散性、写真がアップしやすいフェイスブックに決定！



<https://www.facebook.com/akarirenjya>

灯りレンジャー～灯り調査隊～ (広報策② 商店街レポート)

日本街路灯製造に勤務する3人の灯りのプロフェッショナル達

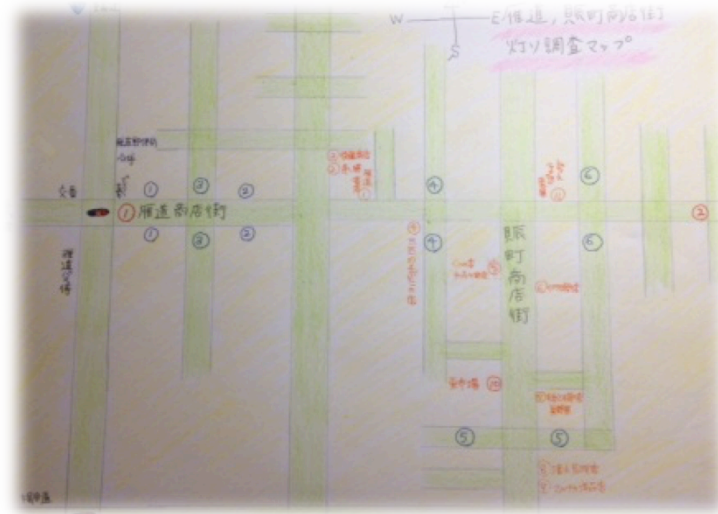
- ・商店街組合の方に結果を伝えるレポート
ファイルにまとめた物を制作

表紙



調査をした商店街マップ

あたたかみが伝わる様、手書きで制作



それぞれの部門ごとに結果を報告

赤色部門

商店街アーチ
商店街モニュメント



① 雁道商店街アーチ



雁道商店街の入り口アーチ。真ん中の電球部分が取れてしまっている。早急に新しい電球の取り付けが必要。

さらに取り付け部分の劣化が目立つため、出来るなら、全て新しい灯りに取り換えた方がよい。

青色部門

商店街アーケード 街路灯



① 商店街アーケード



アーケードは蛍光灯一本がっつらなって設置してある。このアーケードに対して蛍光灯一本は夜、暗いと感じ、防犯の面で影響があると感じる。せめて蛍光灯を二本にして設置か、アーケード全面に灯りをつけるなどが必要。

黄色部門

商店街 店の看板



①雁道書店



雁道書店の看板に灯りが設置されていない。

この店は書店であり子供や中学生などもよく来るだろう。

なので、ただ看板を照らすだけの明るい灯りではなく、優しい雰囲気が出る様なあたたかみが出るオレンジ色の照明がいいと感じる。

私の願い

今回の広報企画を考える事によって商店街の今の詳しい現状を知る事ができました。

この広報を通して、商店街の今の現状が少しでも変わる事が出来たらと願います。

ある商店街に取材に行かさせていただいた際、商店街組合の方が地域に密着した商店街にしたいと仰っていました。

その様な商店街も、今の商店街の現状から日本街路灯製造株式会社を通して少しでも変わる事が出来たらと、願います。